

師走 愛南文芸

さわらび短歌会

四日月に揃いて芽生えし大根の
本葉広がり来秋の陽の中

松本マス子

ひとつだけ個室の窓に灯りあり

その人ひとり夜を超えゆく

藤井 擴

秋彼岸いまだ真夏日おさまらず

芽の出た大根枯れてまた時く

澤近 正弘

この夏の暑さしのぎし向日葵の

種くろ黒と九月尽きたり

岩村千代子

母校なる木造校舎の後地に生う

桜も我と共に老いゆく

門屋あけみ

図書券を手手に初めて本を選ぶ

児らは瞳をきらきらさせて

前田 充

マイペースに生きて息子の五十才

ミニトマト十個畑より取り来る

早朝を校庭ならす軽四車

球児の躍動窓辺に眺む

ひと言をやさしく言へぬ日のありし

詫び言空しきもどり来ぬ人

鉛筆の2B三本求めたり

使い始めのときめきが好き

河上 明美

水野美代子

前田 知子

生田八寿子

菊川俳句会

鷹渡る峰から岬空にとけ

国境のリボンを解く聖夜かな

緩やかな川柔はらかき日向ぼこ

廃校の窓に映った雪景色

荒海に一羽旅立つ冬かもめ

ふくふくとスーパーストック小晦日

縁あり人に観せたき紅葉かな

樹白秋忌古都の片隅抹茶カフェ

冬銀河心を癒すトイピアノ

中川 一喜

浅野勇一郎

迦恋

河野 孝

河野 清美

福田 りさ

和田 靖

安岡留美子

宇野 天弓